

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領  
株主確定日 3月31日

中間配当金受領  
株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先  
(お問合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.shinsho.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に掲載いたします。)

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 当社は東京・大阪両証券取引所に上場していましたが、大阪証券取引所は平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行ったため、当社の上場証券取引所は東京証券取引所となっております。



〒541-8557 大阪市中央区北浜二丁目6番18号  
電話 (0120) 580-217  
<http://www.shinsho.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

**KOBELCO**  
神戸製鋼グループ

つくる、むすぶ、ひらく。

最新の当社IR情報等をご覧ください。



▶ 神鋼商事ホームページ

<http://www.shinsho.co.jp/>

## 第96期 中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで



証券コード：8075

## ■ 財務ハイライト（連結）



## C O N T E N T S

財務ハイライト（連結）	1	業績予想／配当状況／株式の状況	6
株主の皆さまへ	2	神鋼商事グループネットワーク	7・8
事業セグメント別の概況	3・4	トピックス	9
連結決算	5	新中期経営計画／会社データ	10

## ■ 株主の皆さまへ

### 企業理念

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、第96期中間期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の当社グループの現況等につき、ご報告させていただきますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策を背景に、円安・株高が進行し、企業収益の改善や設備投資の持ち直しなどから、緩やかな回復基調となりました。海外では、欧米各国の財政問題や新興国の景気減速など、海外景気の下振れ懸念もあり、依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループはメキシコにおいて日系自動車部品メーカーの素材調達に対応することを目的に現地法人を設立しました。また、インド・チェンナイ市近郊において建設機械向け鉄鋼厚板加工工場を稼働させるなど、グローバルビジネス展開の基盤拡充を図ってまいりました。

業績につきましては、粗鋼生産の増加や主要需要家である自動車業界、建設業界等に回復の動きがみられるなど、鉄鋼セグメントおよび非鉄金属セグメントを中心に堅調に推移した結果、売上高は4,121億77百万円（前年同四半期比3.8%増）、営業利益は24億94百万円（同0.7%増）、経常利益は22億15百万円（同1.0%増）、四半期純利益は10億6百万円（同210.0%増）となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき3円とし、お支払い日を12月5日とさせていただきます。

なお、1株あたりの年間配当金は6円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、何とぞ今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月



代表取締役社長 村瀬 敬一

## ■ 事業セグメント別の概況

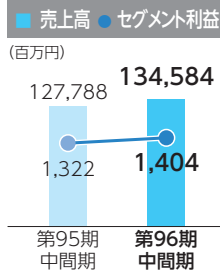
### 鉄鋼セグメント

輸出環境の改善や自動車業界等の好調を受け、鋼板製品、線材製品ともに国内の取扱量が増加し、輸出も増加しましたが、線材製品は国内向け価格が下落しました。棒鋼製品は主として国内需要の増加により取扱量が増加しました。海外においてはアメリカ、タイを中心に堅調な需要に支えられ、総じて業績は好調に推移しました。

この結果、売上高は1,345億84百万円（前年同四半期比5.3%増）、セグメント利益は14億4百万円（同6.2%増）となりました。



（神戸製鋼所  
線材工場）



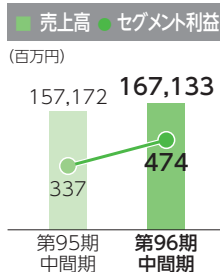
### 鉄鋼原料セグメント

粗鋼生産量の回復により輸入鉄鋼原料やスラグの取扱量が増加しました。合金鉄も取扱量が増加しましたが、チタン原料および冷鉄源は取扱量が減少しました。

この結果、売上高は1,671億33百万円（前年同四半期比6.3%増）、セグメント利益は4億74百万円（同40.6%増）となりました。



（神戸製鋼所  
石炭火力発電所）



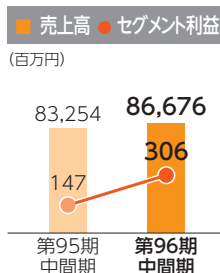
### 非鉄金属セグメント

銅製品は半導体向けリードフレームの取扱量が減少しましたが、自動車向け端子材および空調向け銅管の取扱量は増加しました。アルミ製品は鉄道車両向け等の取扱量が増加しました。非鉄原料は銅地金およびアルミスクラップの取扱量が増加しました。

この結果、売上高は866億76百万円（前年同四半期比4.1%増）、セグメント利益は3億6百万円（同107.2%増）となりました。



（蘇州神商金属有限公司  
アルミコイルセンター）



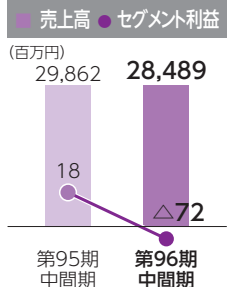
### 機械・情報セグメント

機械製品は汎用圧縮機、タイヤ機械等の取扱いは増加したものの、大型案件の減少により全体の取扱いは減少しました。情報関連商品はタッチパネル用電子材料の取扱量が減少しました。

この結果、売上高は284億89百万円（前年同四半期比4.6%減）、セグメント損失は72百万円（前年同四半期は18百万円の利益）となりました。



（スチームスター）



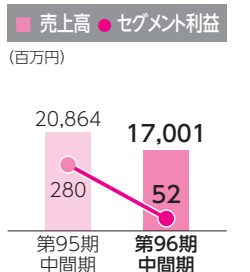
### 溶材セグメント

溶接材料は建設鉄骨や自動車向けの取扱量は増加しましたが、造船向けが減少し、アジア向けの輸出も減少しました。溶接関連機器は建設機械や造船向けの取扱いが減少しました。また、生産材料の取扱量も減少しました。

この結果、売上高は170億1百万円（前年同四半期比18.5%減）、セグメント利益は52百万円（同81.3%減）となりました。

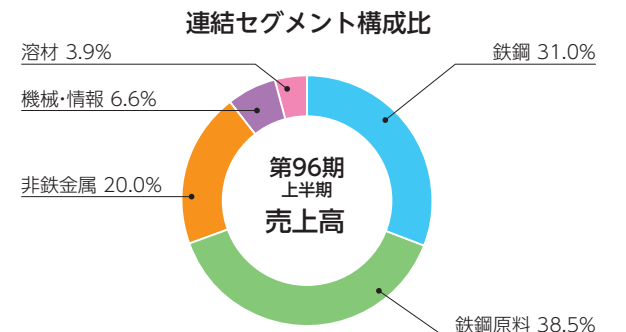


（溶接材料）



### 連結セグメント構成

セグメント	売上高	セグメント利益
鉄 鋼	134,584	1,404
鉄 鋼 原 料	167,133	474
非 鉄 金 属	86,676	306
機 械 ・ 情 報	28,489	△72
溶 材	17,001	52
そ の 他	186	25
（消去または全社）	△21,894	24
合 計	412,177	2,215



※上記連結セグメント構成比には、報告セグメントに属さないその他の売上高および内部取引消去額を含んでおりません。

# ■ 連結決算

## ■ 中間貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第95期	第96期中間期
	平成25年3月31日現在	平成25年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	181,659	175,263
固定資産	32,547	36,335
有形固定資産	5,235	6,484
無形固定資産	1,551	1,467
投資その他の資産	25,760	28,382
資産合計	214,206	211,598
<b>負債の部</b>		
流動負債	157,432	150,660
固定負債	25,294	26,313
負債合計	182,727	176,973
<b>純資産の部</b>		
株主資本	31,181	31,921
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	22,844	23,585
自己株式	△17	△17
その他の包括利益累計額	△1,442	628
少数株主持分	1,740	2,074
純資産合計	31,479	34,624
負債及び純資産合計	214,206	211,598

(百万円未満切捨て)

## ■ 中間損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第95期中間期	第96期中間期
	平成24年4月1日～平成24年9月30日	平成25年4月1日～平成25年9月30日
売上高	397,095	412,177
売上原価	386,129	400,920
売上総利益	10,965	11,256
販売費及び一般管理費	8,488	8,762
営業利益	2,477	2,494
営業外収益	866	1,188
営業外費用	1,150	1,466
経常利益	2,194	2,215
特別利益	5	—
特別損失	341	72
税金等調整前中間純利益	1,857	2,143
法人税、住民税及び事業税	934	1,074
過年度法人税等	607	—
法人税等調整額	△25	62
少数株主損益調整前中間純利益	340	1,006
少数株主利益	16	0
中間純利益	324	1,006

(百万円未満切捨て)

## ■ 中間キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第95期中間期	第96期中間期
	平成24年4月1日～平成24年9月30日	平成25年4月1日～平成25年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,593	△1,472
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,141	△2,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435	△194
現金及び現金同等物に係る換算差額	71	510
現金及び現金同等物の増減額	87	△3,557
現金及び現金同等物の期首残高	17,460	18,513
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	93
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△36	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	17,512	15,049

(百万円未満切捨て)

## 平成26年3月期の連結業績予想

平成25年4月1日～平成26年3月31日

	前期実績	今期予想	対前期増減率
売上高	769,660百万円	850,000百万円	10.4%
営業利益	5,455百万円	5,800百万円	6.3%
経常利益	4,860百万円	5,300百万円	9.1%
当期純利益	1,880百万円	2,900百万円	54.2%
1株当たり当期純利益	21円 24銭	32円 75銭	54.2%

上記の今期予想は平成25年10月31日発表の予想数値です。  
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	270,000,000株
発行済株式の総数	88,571,351株 (自己株式 34,274株を除く)
株主数	5,072名 (前事業年度末比 74名減)
大株主 (上位10名)	

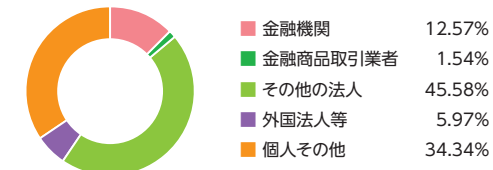
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託神戸製鋼所口)	19,062	21.52
株式会社神戸製鋼所	11,791	13.31
神商取引先持株会	6,258	7.07
山内 正義	1,662	1.88
シンフォニアテクノロジー株式会社	1,500	1.69
神鋼商事従業員持株会	1,240	1.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,107	1.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,092	1.23
株式会社三井住友銀行	1,052	1.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,028	1.16

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

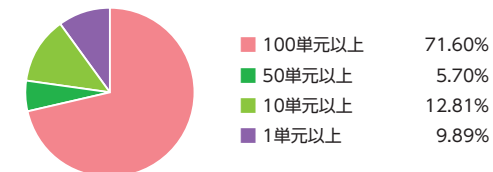
## 配当状況

	1株当たり配当金 (円)			配当金額 (年間) (百万円)	配当性向 (連結) (%)	純資産配当率 (年間) (%)
	中間期末	期末	年間			
平成26年3月期	3.00	3.00 (予想)	6.00 (予想)	—	—	—
平成25年3月期	3.00	3.00	6.00	531	28.3	1.9
平成24年3月期	3.00	3.00	6.00	531	18.1	2.1
平成23年3月期	2.50	2.50	5.00	442	13.2	1.9

## ■ 所有者別株式分布状況

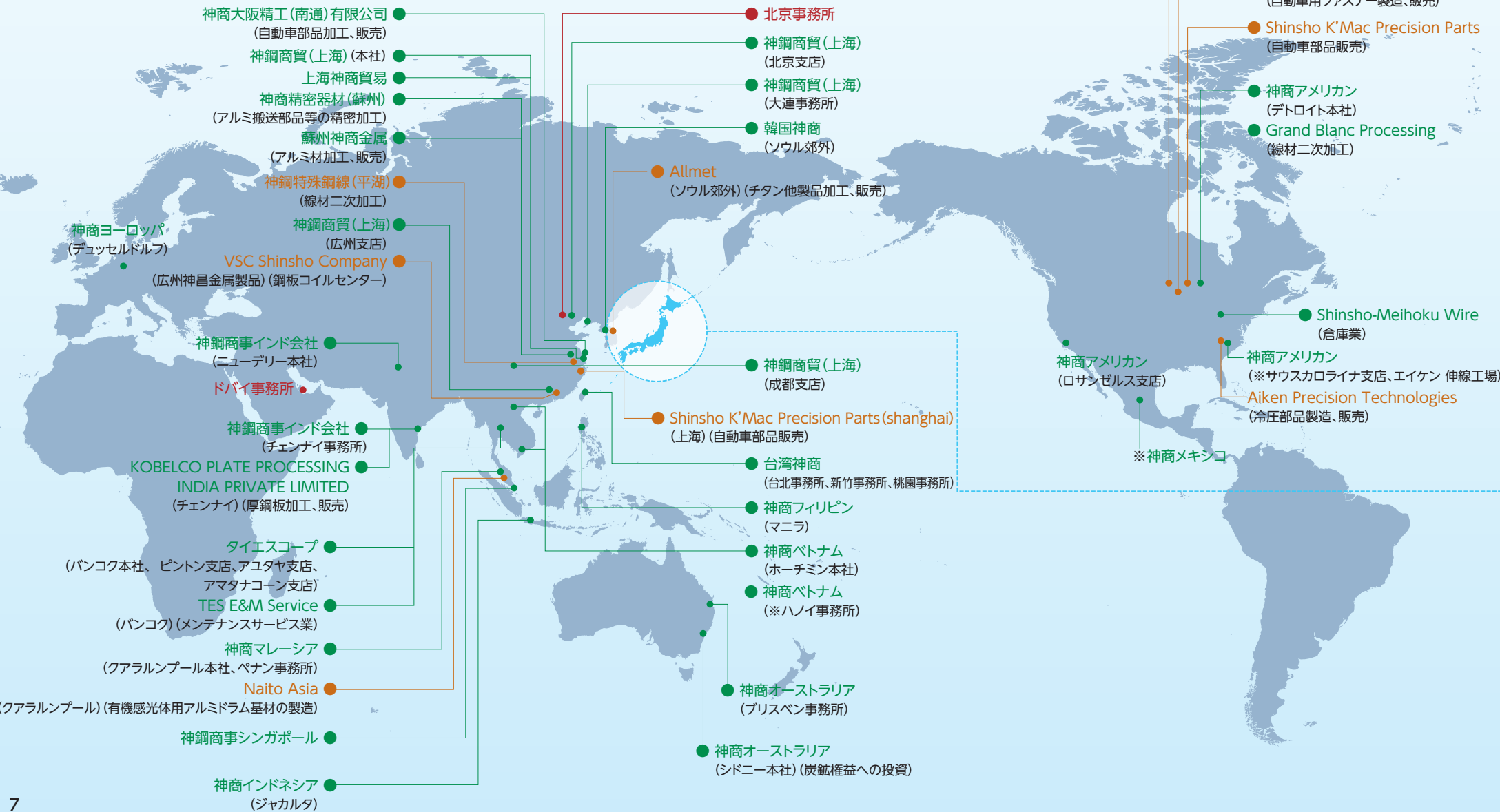


## ■ 所有株数別株式分布状況



# 神鋼商事グループネットワーク (2013年10月31日現在)

● 海外事業所(2拠点) ● 主要子会社(26拠点) ● 主要持分法適用会社(9拠点) ※新規設立



## 国内事業所 および 関連会社

### 事業所

大阪本社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号
東京本社	東京都中央区日本橋一丁目2番5号
名古屋支社	名古屋市中村区名駅二丁目45番7号
神戸支社	神戸市中央区脇浜海岸通二丁目2番4号
九州支社	福岡市博多区博多駅中央街1番1号
支店	中国 (広島)、静岡、北陸 (富山)、東北 (仙台)、札幌
出張所	熊本、徳山、加古川、岐阜、群馬

### 関連会社

神鋼鉄鋼販売株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号 淀屋橋スクエア
神商非鉄株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号 淀屋橋スクエア
株式会社マツポー	東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル4F
システム精工株式会社	新潟県長岡市南陽二丁目951番地6
アジア化工株式会社	大阪市中央区伏見町3丁目2番4号 淀屋橋戸田ビル
神商ビジネスサポート株式会社	大阪市中央区北浜二丁目6番18号 淀屋橋スクエア

TOPICS 1

## インドの鉄鋼厚板加工工場が本格稼働へ

インドに設立しました鉄鋼厚板加工工場「コベルコプレートプロセッシングインディア」(以下、KPP)は10月11日に開所式を開催し、本格稼働に至りました。



(工場建屋正面)

会社概要

商号 : KOBELCO PLATE PROCESSING INDIA PRIVATE LIMITED  
 社長 : 山名 佳 (神鋼商事株式会社)  
 登記住所 : タミル・ナドゥ州 チェンナイ市内  
 工場所在地 : インド アンドラ・プラデシュ州 Sri City 工業団地内  
 設立 : 2012年1月2日  
 事業内容 : 厚板切板・鉄鋼加工品の製造販売  
 資本金 : 5億5,200万ルピー (約8億円)  
 出資比率 : 神鋼商事株式会社51% 久商株式会社49%  
 従業員 : 47名 (日本人2名を含む)  
 工場設備 : 切断機、開先機 (※1)、プレス機、切削加工機械、ショット設備 (※2) 他

- ※1 開先機  
溶接を行う際、母材間に設ける溝を作るための機械。
- ※2 ショット設備  
塗装をする前処理としての表面加工設備。ショットと呼ばれる球状の物体を加工物の表面に打ち付けて付着物を除去する。

KPPは、インフラ開発需要の旺盛なインドにおいて生産拠点を持つコベルコクレーンおよびコベルコ建機に建設機械用の厚板切板を供給し、コスト改善と品質向上に貢献してまいります。

TOPICS 2

## 神商アメリカンがメキシコに現地法人を設立

当社100%出資の米国現地法人神商アメリカンは、本年4月にメキシコに現地法人「Shinsho Mexico S.A. de C.V.」を設立しました。

米州での自動車生産基地化が進むメキシコにおいて、今後2015年にかけて日系自動車メーカー各社は、新たな工場進出および増設により大幅な生産能力アップを計画しており、この動きに対応して自動車部品メーカーが相次いで現地へ進出しています。



(オフィス風景)

こうした状況の中、当社も自動車部品メーカーからの要望に答えるために現地法人を設立し、材料供給を行いつつ更なるマーケティングを実行してまいります。

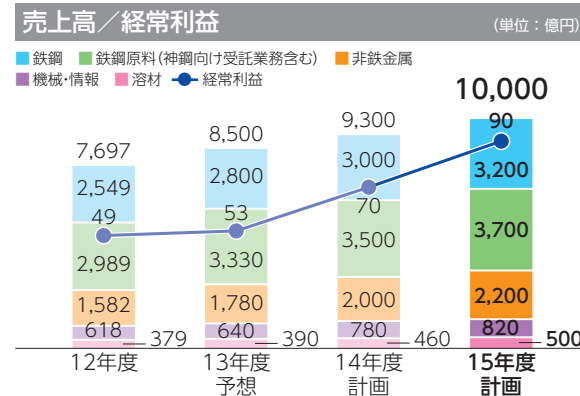
なお、本現地法人の設立場所であるグアナファト州イラプアトの近辺には、日系企業が多数進出しています。



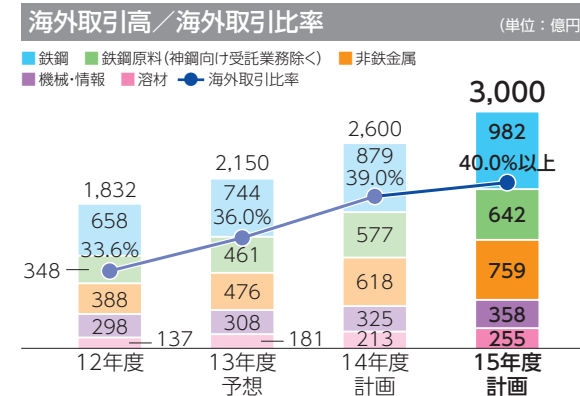
(オフィス周辺)

### 中期経営計画 (2013年度～2015年度)

当社グループは、2013年度から始まる新たな中期経営計画を策定しました。2010年5月に発表した「長期経営ビジョン」の下、「神戸製鋼グループの中核となるグローバル商社を目指す」をビジョンとする、「グローバルビジネスの加速」、「商社機能の強化」、「経営基盤の充実」の「3つの全体戦略」を柱にした諸施策を推進してまいります。



※ 各セグメント数値は連結調整前



## ■ 会社データ (平成25年9月30日現在)

### ■ 会社概要

設立 昭和21年11月12日  
 発行済株式総数 88,605,625株  
 資本金 5,650,281,250円  
 主要取扱品目 鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、情報産業関連商品、溶材

### ■ 役員

取締役および監査役

代表取締役社長	村瀬 敬一
代表取締役	笹川 浩史
取締役	松本 博明
取締役	小林 清文
取締役	岡本 利一
取締役	渡辺 寛
取締役	廣野 安生
取締役	渡辺 彰
監査役 (常勤)	永野 洋邦
監査役 (常勤)	内藤 三郎
監査役	毛利 修三
監査役	吉田 達樹

### ■ 執行役員

※社務執行役員	長 村瀬 敬一
※社務執行役員	村瀬 敬一
※社務執行役員	笹川 浩史
※社務執行役員	松本 博明
※社務執行役員	津村 拓良
※社務執行役員	小林 清文
※社務執行役員	大西 健司
※社務執行役員	森田 哲也
※社務執行役員	松尾 久幸
※社務執行役員	岡本 利一
※社務執行役員	大田 修徳
※社務執行役員	廣野 安生
※社務執行役員	渡辺 寛
執行役員	中井 通雄
執行役員	松原 美弘
執行役員	山東 孝一
執行役員	大城 誠市
執行役員	大西 健児
執行役員	牟田 智

(注)1 取締役のうち、渡辺 彰氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
 (注)2 執行役員のうち、上記※印の各氏は取締役を兼務しております。